

TICS買7000兆円規模予測 「フィジカルAI」に参入、HUGGING FACEがオープンソース人型ロボのPOLLEN ROBO収

23161176

高橋晴仁

Hugging Face（ハギング・フェイス）は4月14日、オープンソース人型ロボットを手がけたPollen Robotics（ポレン・ロボティクス）を買収したと発表した。

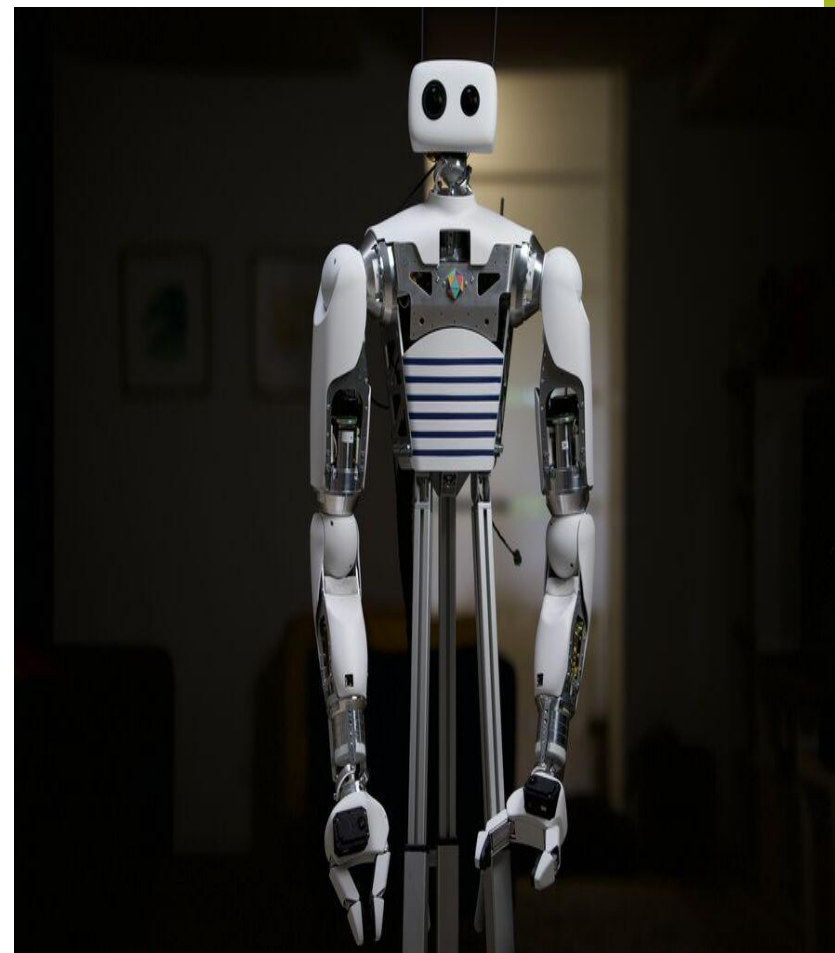
- Hugging Face（ハギング・フェイス）は機械学習アプリケーションを作成するためのツールを開発している企業である。
- 主にテキスト分類や質疑応答、テキスト生成などの自然言語処理タスクを学習したモデルの提供

今回の経緯

- ・ポレン・ロボティクスはすでに7万ドル（約1000万円）で現在「Reachy 2」（リーチャー・ツー）を提供している。

➡しかしほかの商業ロボットとは実用レベルに大きな差がある。

⇔ 今回機械学習ツールに強みを持つHugging Faceと共同で開発。



よりオープンで、手頃な値段で、改造しやすいものへ

- ・ ヒト型ロボットは今後数年で労働力としての価値を高める。

→ フィジカルAIは50兆ドル（約7157兆円）の利益を生む機会である

- ・ Hugging Faceは誰でもロボットを作れ、制御できる未来の実現を目指している。

コメント

- ・誰もが自前で作れるロボットには興味がわく。だが一歩間違えると悪用される可能性もある。
- ・研究が進めば人体に影響が出るような現場や実験においても利用ができる。
- ・様々なツールとのコラボが見てみたい。

感想

- ・ ロボットを産業や研究に用いるだけでなく、私たち一般人にも作れるようにする考えは面白い。
- ・ 人型ロボットが今後世の中にどのような影響を及ぼすのか期待。